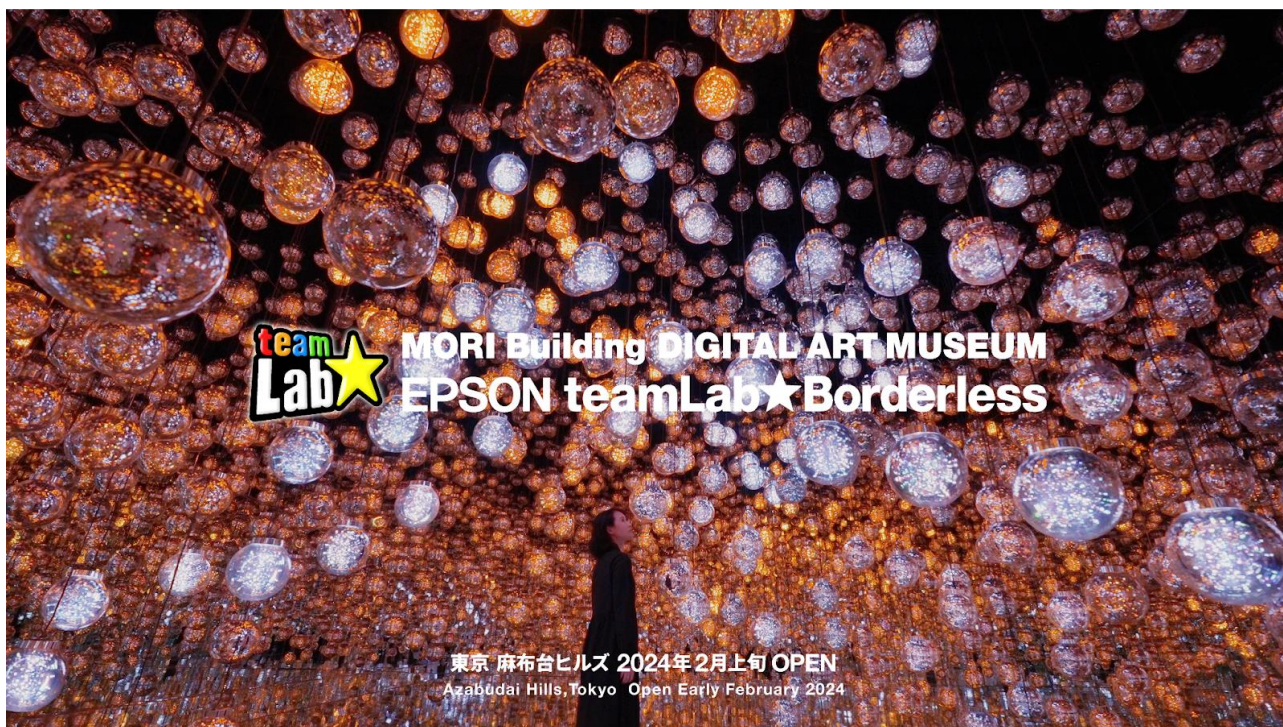


**「麻布台ヒルズ」に2024年2月上旬オープン
「森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」
オープンに先駆け、世界初公開の新作を発表**



森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長:辻慎吾)は、アート集団チームラボと手がける、森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス(以下、チームラボボーダレス)を、2024年2月上旬、麻布台ヒルズに移転オープンします。チームラボボーダレスは、チームラボの境界のないアート群による「地図のないミュージアム」として、2018年6月に東京・お台場にオープン。移転のため2022年8月に閉館しました。

このたび、2024年2月上旬オープンのチームラボボーダレスで発表される作品群のうち、世界初公開となる《Bubble Universe》と《Megalith Crystal Formation》の2作品空間の展示を決定しました。世界でここでしか鑑賞できない作品により、チームラボボーダレスはこれまで以上に「日本・東京のデスティネーション」として進化します。

森ビルは、チームラボとの協働を通じて世界中の人々を惹きつける新たなミュージアムを都心部に創出し、引き続き、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス PR 事務局(株式会社サニーサイドアップ内)
担当: 今井桃子(080-9705-0640)、プラミータ(080-7940-4629)、林ニコル(080-7441-7094)、吉松憲吾(080-4734-8432)
TEL: 03-6894-3200 E-mail: teamlabborderless_pr@ssu.co.jp

世界初公開の2作品空間

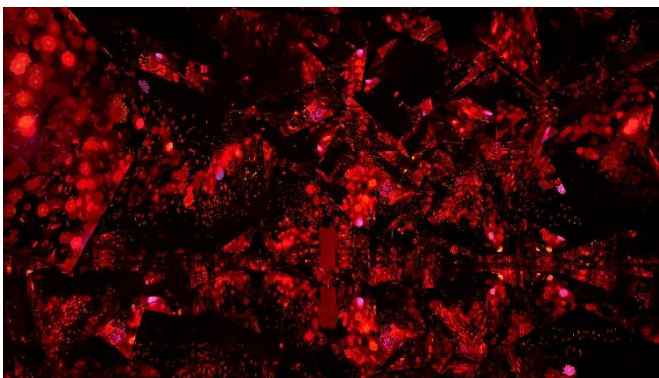
①【世界初】《Bubble Universe》



チームラボ《Bubble Universe: 実体光、光のシャボン玉、ぶるんぶるんの光、環境によって生み出される光》© チームラボ

《Bubble Universe》は、チームラボの新たなアートプロジェクト「認知上の存在」をテーマにした、インタラクティブな作品です。展示空間は無数の球体群によって埋め尽くされ、それぞれの球体の中には、異なる光の現象が入り混じります。本作は、認知と存在、そして、人間が世界をどのように見ているのかを模索すると同時に、現象が環境との連続的な関係性の中に存在することを示唆しています。

②【世界初】《Megalith Crystal Formation (work in progress)》



チームラボ《花と人 - Megalith Crystal Formation (work in progress)》© チームラボ



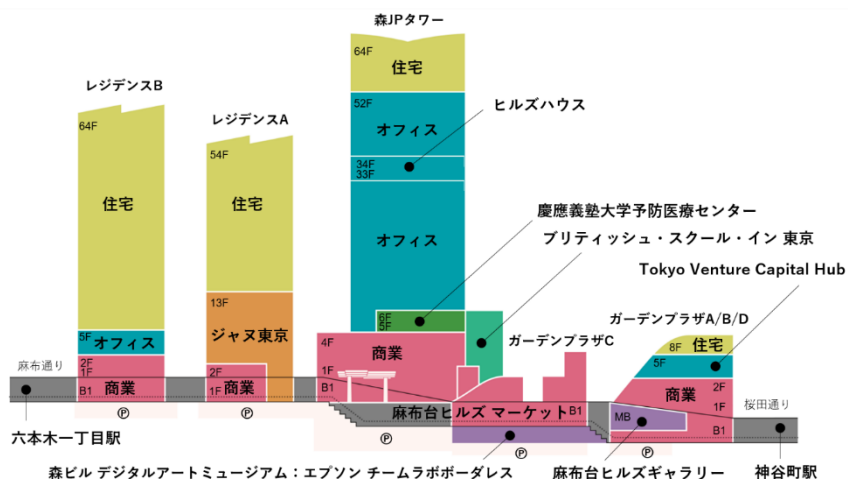
チームラボ《Black Waves - Megalith Crystal Formation (work in progress)》© チームラボ

《Megalith Crystal Formation》には、チームラボボーダレスの世界を構成するさまざまな作品群が、部屋から部屋へと移動し、入り込んできます。作品のひとつである《花と人 - Megalith Crystal Formation (work in progress)》では、コンピュータープログラムによりリアルタイムで描き出される花々が、誕生と死滅を繰り返します。また、花々は、来場者の振る舞いにインタラクティブに反応しながら変容するため、今この瞬間の絵は二度と見ることはできません。

麻布台ヒルズとチームラボボーダレスについて

森ビルは、「文化」を都市づくりにおける重要な要素と位置付けて、街ごとに個性的な文化施設を創出してきました。2018年に開館した「森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」(東京・台場)もその一つであり、チームラボとともに国際都市・東京の磁力向上に貢献してきました。

ウェルネスへの意識が高まってきた今、文化やアートは、人々の心を豊かにするものとして、ますます重要視されています。”Green & Wellness”をテーマとする「麻布台ヒルズ」では、「アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したい」と考えるチームラボの作品群が、訪れる人の感性を刺激し文化を育むことを願って、「チームラボボーダレス」を移転オープンすることとしました。多様な文化発信をする「麻布台ヒルズギャラリー」、街のあらゆる場所に設置されるパブリックアートとともに、芸術・文化が一体となったミュージアムのような街を目指します。



チームラボボーダレスについて

チームラボボーダレスは、アートコレクティブ・チームラボの境界のないアート群による「地図のないミュージアム」です。境界のないアート群は、部屋から出て他の部屋へと移動し、他の作品とコミュニケーションし、影響を受け、作品同士が混ざり合います。チームラボボーダレスは、そのような作品群によって、境界なく連続する1つの世界です。人々は、境界のないアートに身体ごと没入し、「境界のない1つの世界の中で、さまよい、探索し、発見する」のです。新しいチームラボボーダレスでは、境界のないアート群は、より進化し、より多くの場所へ移動し、複雑に関係し合い、永遠と変化し続ける境界のない一つの世界を創ります。



「森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」東京 © チームラボ



ミュージアムエントランス

「森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」東京 © チームラボ

麻布台ヒルズについて

「麻布台ヒルズ」は、「アークヒルズ」に隣接し、「文化都心・六本木ヒルズ」と、「グローバルビジネスセンター・虎ノ門ヒルズ」の間にあり、文化とビジネスの両方の個性を備えたエリアに立地しています。

約 8.1ha もの広大な計画区域は圧倒的な緑に包まれ、約 6,000 m²の中央広場を含む緑化面積約 24,000 m²、延床面積約 861,700 m²、オフィス貸室面積約 214,500 m²、住戸数約 1,400 戸、「森 JP タワー」の高さは約 330m、就業者数約 20,000 人、居住者数約 3,500 人、年間来街者数約 3,000 万人で、そのスケールとインパクトは「六本木ヒルズ」に匹敵します。

「麻布台ヒルズ」は、当社が理想とする「都市の中の都市(コンパクトシティ)」であり、これまでのヒルズで培ったすべてを注ぎ込んだ「ヒルズの未来形」です。



© DBOX for Mori Building Co., Ltd - Azabudai Hills



© DBOX for Mori Building Co., Ltd - Azabudai Hills

施設名称	森ビル デジタルアート ミュージアム :エプソン チームラボボーダレス https://borderless.teamlab.art/jp/
所在地	麻布台ヒルズ ガーデンプラザ B B1(東京都港区麻布台 1-2-4)
開館日	2024 年 2 月上旬